

建設ラッシュの町

最新式の MD プレーヤーを購入した。いつでもどこでも手軽に音楽が聴けるように。少々高値であったが日本の大手メーカーの製品なので安心できた。しかしよく見ると小さな文字でメイドインマレーシアとある。「へ～え！東南アジアのマレーシアでこんな最新技術の製品が造れるのだ」と不思議に思えた。それまでのマレーシアはまだまだ発展途上国のイメージが一般的であったからだ。今から 30 年ほど前の話である。

マレーシアはそれまでゴムを中心としたプランテーション栽培とかスズの産出による経済が主流であった。80 年代に入ってから工業国としての立国を目指し、興業・機械分野に力を入れた。その結果、金属製品産業や電子機器産業を大幅に輸出することに成功。

こうした経済発展は日本をはじめとする海外からの投資の増加によるところ大で、首都クアラルンプールでは外資企業の進出を見込んだオフィスビルの建設ラッシュが続いている。周辺のタイ・バンコク、インドネシア・ジャカルタ、シンガポールなどのオフィスビルの面積においては大きな差をつけている。

この写真は KL セントラル駅前のホテルの窓から KLCC (ツインタワー周辺) 方向を撮ったもの。ここに映っているクレーンの数でビルの建設ラッシュが見えてくる。オフィス、商業施設、ホテルや高層コンドミニアムが町中に建設の音を響かせている。巨大なアジアを代表する大都会が今まだ造り続けられている途上なのだ。日本が過ぎて経験したバブル経済にならないよう願っている。



撮影 2014 年秋

